

モーツァルト室内管弦楽団 第190回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester Japan / 190.Regulärkonzert



2019年10月5日(土)午後2時■いずみホール

Samstag, 5. Oktober, 2019, 14 Uhr●Izumi Hall Osaka

- 主催：NPO 法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org>
- 協賛：いずみホール [一般財団法人 住友生命福祉文化財団]
- マネジメント：大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504

*2017年2月モーツァルト室内管弦楽団はNPO法人となりました。



モーツァルト室内管弦楽団 第190回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester Japan/190. Regulärkonzert

2019年10月5日(土)午後2時●いずみホール

Samstag, 5. Oktober, 2019, 14 Uhr●Izumi Hall Osaka

〈フランス音楽特集〉

フォーレ／Gabriel Fauré (1845-1924)

組曲《マスクとベルガマスク》より序曲

Overture from “Masques et Bergamasques

イベール／Jacques Ibert (1890-1962)

フルート協奏曲**

Concerto for Flute**

I. Allegro

II. Andante

III. Allegro scherzando

サン=サーンス／Camille Saint-Saëns (1835-1921)

ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品22*

Piano Concerto No.2 in G minor op.22*

I. Andante sostenuto

II. Allegro scherzando

III. Presto

* * *

ビゼー／Georges Bizet (1838-1875)

交響曲 ハ長調

Symphony in C major

I. Allegro vivo

II. Adagio

III. Scherzo: Allegro vivace

IV. Finale: Allegro vivace

フルート独奏：山本 ありさ**／Flute Solo : Arisa Yamamoto**

ピアノ独奏：山田 富士子*／Piano Solo : Fujiko Yamada*

管弦楽：モーツァルト室内管弦楽団／Orchestra : Mozart-Kammerorchester Japan

指揮：門 良一／Conductor : Ryoichi Kado

■フォーレ:《マスクとベルガマスク》より序曲

《マスクとベルガマスク》はフォーレ最後の劇音楽である。モーツァルト室内管弦楽団は、古いことになるが1995年の第75回定期演奏会で、有名な《月の光》ほかの歌曲を含む組曲全8曲を演奏し好評を得た。序曲は快調なテンポでフォーレらしい軽妙洒脱なテーマが流れるしゃれた音楽であり、〈フランス音楽特集〉の開幕にふさわしいと思う。

■イベール:フルート協奏曲

作曲者42～43歳の作品。イベールの他の作品と違って調性感のやや希薄な曲である。往年のフルートの名手、マルセル・モイーズに献呈されている(余談だが、筆者はマルセル・モイーズの演奏するドブラーの《ハンガリー田園幻想曲》を中学生の時SP盤で聴いている)。そう多くはないフルート協奏曲の中ではモーツァルトの2曲と並ぶ名曲で、フルーティストにとっては難曲であり、オーケストラや指揮者にとってもやさしい曲ではない。諧謔味に富んだ曲想の底に乾いた抒情性とでもいうべきものが感じられる音楽である。

■サン=サーンス:ピアノ協奏曲 第2番

5曲あるピアノ協奏曲の2番目、33歳の作品。サン=サーンスの作品の一般受けは当たり外れが大きく、ピアノ協奏曲の1番、3番、ヴァイオリン協奏曲の1番、2番、交響曲の1番、2番などは今日ほとんど演

奏されない。サン=サーンスのピアノ協奏曲はモーツァルトのその伝統を受け継いでいるということがよく言われるが、その形式というよりはその精神が受け継がれているということであろう。第2番の第1楽章はバロック的な音型のピアノのモノローグで始まり、それが結構長く続いて盛り上がった後、オーケストラの強烈な和音が鳴り響くという劇的な始まり方をする。極めてロマンティックであるが古典的な形式感がしっかりしている。第2楽章は打って変わって軽妙なスケルツォで楽しい。第3楽章は急速なサルタレロ舞曲で、ピアノの音型は第2楽章のそれに少し似ているがはるかに重厚である。中間に聴こえる木管楽器のハーモニーが印象的である。

■ビゼー:交響曲 ハ長調

ビゼー17歳の作品。ビゼーは36歳で死んだ夭折の作曲家であるが、その彼が自作である《カルメン》の大成功を知らずに死んだと聞けば驚かれる方も多からう。オペラの大作曲家が学生時代に書いた習作と位置付けられることの多いこの交響曲だが、後の作風を十分に窺わせる大変な名曲である。形式はハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンの古典派のスタイルを完璧に受け継いでいるが、随所にフランス人らしい機智に富んだ雰囲気豊かなおしゃれた交響曲となっている。作曲後は完全に埋もれた作品となってしまう、完成後80年経って初演されている。

《出張演奏のご案内》

記念パーティやイベントを音楽の生演奏で彩りませんか？

モーツァルト室内管弦楽団があなたのお手伝いを致します。

パーティやイベント等の余興を音楽で盛り上げましょう。

小編成は二重奏から大編成は40人のオーケストラまでご予算に応じてご提案します。

曲目等のリクエストにも応じます。

お問い合わせは下記まで。

モーツァルト室内管弦楽団事務局:TEL : 090-9286-9290

山本ありさ●フルート Arisa Yamamoto, Flute

兵庫県立西宮高校音楽科を経て、相愛大学音楽学部卒業。同大学卒業演奏会、日本フルート協会新人演奏会、第2回ドルチェアーティストサロン新人演奏会に出演。J.フェランディス、T.クリスチャンセンのマスタークラス受講。2011年、2018年リサイタル開催。「シリンクスフルートアンサンブル」のメンバーとして、今春2枚目となるCD《展覧会の絵》をリリースする他、大阪いずみホールでの定期演奏会や東京公演等で活躍している。持田洋氏に師事。NPO法人関西音楽人クラブ会員。



山田富士子●ピアノ Fujiko Yamada, Piano

幼少より井口基成、レオニード・コハンスキー、福井直俊の各氏に師事。東京藝術大学附属高校を経て、東京芸術大学に入学、後にフランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院に入学、ピアノをヴラド・ペルルミュテール、マルセル・シアンピ、マルセル・ウークランの各氏に、室内楽をピエール・パスキエ、ジョゼフ・カルヴェの各氏に師事。マリア・カナルス国際ピアノコンクール入賞。日本国内をはじめ、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、中国、マレーシア、タイ、フィリピン等でリサイタル、コンチェルト、室内楽等、積極的な演奏活動を展開し、ラジオやテレビでも放送される。また、日本音楽コンクール、学生音楽コンクール、スペイン・ハエン国際ピアノコンクール、ヴァレンシア・ホセ・イトゥルビ国際ピアノコンクール等の審査員も務める他、イタリア、サンタ・キアラ夏期国際音楽アカデミー、プラハ・サマーアカデミーに講師として参加している。桐朋学園大学ピアノ特命教授。NPO法人関西音楽人クラブ会員。

《今後の演奏会の予定》

◆第191回定期演奏会◆

2019年11月30日(土)午後2時
天満教会
定期サロンコンサート
〈クライネ・モーツァルト〉第97回例会
〈創立50周年記念シリーズ〉第2回

モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク
ト長調 K.525
ドビュッシー:ピアノ三重奏曲*
モーツァルト:アダージョとフーガ ハ短調 K.546
フォーレ:ピアノ五重奏曲 第1番**

ピアノ:笹村直子*、犬伏純子**
ヴァイオリン:永ノ尾文江、遠藤留美子
ヴィオラ:佐份利祐子 チェロ:日野 俊介
お話:門 良一

◆第192回定期演奏会◆

2020年1月13日(月祝)午後3時
いずみホール
〈創立50周年記念シリーズ〉第3回
モーツァルト《魔笛》再々演

ザラストロ:松下 雅人/夜の女王:四方 典子
タミーノ:諏訪部匡司/パミーナ:鬼一 薫
パパゲーノ:西尾 岳史/パパゲーナ:西田真由子
弁者、僧:萩原 寛明/モノス外ス:橋本 恵史
第一の侍女:白石 優子
第二の侍女:櫻井 孝子
第三の侍女:山田 愛子
第一の童子:大嶋真規子
第二の童子:山田 千尋
第三の童子:麻生 真弓
第一の武士:西垣 俊朗
第二の武士:西垣 俊紘
合唱:モーツァルト記念合唱団
合唱指揮:益子 務
コンサートミストレス:釋 伸司
指揮:門 良一
演出:西垣 俊朗
制作:西垣 俊朗、益子 務、門 良一

◆第193回定期演奏会◆

2020年3月28日(土)午後2時
いずみホール
〈創立50周年記念シリーズ〉第4回

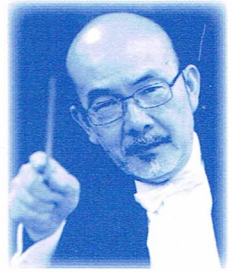
〈モーツァルト名曲集〉

モーツァルト:交響曲 第1番 変ホ長調 K.16
モーツァルト:フルート協奏曲 第2番 ニ長調 K.314
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第3番 イ長調 K.219
モーツァルト:交響曲 第40番ト短調 K.550

フルート:青山優子
ヴァイオリン:八幡 順
指揮:門 良一

門 良一 ● 指揮 Ryoichi Kado, Dirigent

1939年大阪生まれ。1962年京都大学理学部物理学科卒業、67年同大学院終了。京都大学オーケストラには学部、大学院を通じて10年間に在籍し、フルート奏者、指揮者を務め、同オーケストラの発展に多大な貢献をする。また、客演指揮者の故近衛秀麿、故朝比奈隆、故岩城宏之、故若杉 弘、故奥田道昭、秋山和慶各氏等のもとで副指揮者を務め、薫陶を受ける。70年モーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり、同楽団を日本有数のプロ室内オーケストラに育て上げた。モーツァルト、ハイドン等の古典派の作品を35人の室内オーケストラで優雅に繊細に演奏する独自のスタイルを確立している。企画力にも優れ、モーツァルトの「予約演奏会の再現」やオペラ《イドメネオ》の世界初ノーカット上演などの大きな企画を成功させている。また、世界的名手との協演も多く、ピアノのマリア=ジョアオ・ピリス、シプリアン・カツァリス、ヴァイオリンのライナー・キュッヒル、ホルンのペーター・ダム等との協演においてはソリストの絶大な信頼を得て大成功を収めている。近年は古典派だけでなく前期ロマン派やフランス音楽においても、企画、演奏両面で注目すべき成果を上げている。アマチュアの指導にも熱意を持ち、京都産業大学神山交響楽団の音楽監督・常任指揮者を創立時より務めている。モーツァルト研究者として知られ、1982～2011年NHK大阪文化センター、1992～2011年同神戸文化センターにおいて「モーツァルトを聴く」の講師を務める。京都産業大学名誉教授。



● NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 Mozart-Kammerorchester Japan

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いづみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、19年からは〈創立50周年シリーズ〉を開始している。2017年1月にNPO法人となる。

《メンバー》	コンサートマスター	釋 伸司						
第1ヴァイオリン	釋 伸司	本多 智子	稲庭真理子	北村 奈美	松本 紗希	森住 憲一		
第2ヴァイオリン	中川 敦史	久津那綾香	田原口安代	福岡 昂大	幣 晴代	池内 美紀		
ヴィオラ	道幸 明美	三上 哲	白木原有子	灘儀 育子				
チェロ	日野 俊介	石塚 俊	柳瀬 史佳	三宅 香織				
コントラバス	南出 信一	北田 由美						
フルート	大江 浩志	毛利 恵美						
オーボエ	福田 淳	中江 暁子						
クラリネット	高橋 博	門 小夜子						
ファゴット	佐伯 利之	倉永 晴美						
ホルン	佐藤 明美	垣本奈緒子	西 陽子	米崎 星奈				
トランペット	大西 由起	中島 真						
打楽器	福井 鈴							

インスペクター 中川 敦史
ライブラリアン 本多 智子

会長 谷口 安平 (京都大学名誉教授)
 監事 玉井 英二 (三井住友カード特別顧問)
 顧問 伊藤 郁太郎 (大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長)

《法人会員》(50音順)

荒川化学工業	日本製鉄	中西金属工業	三井住友カード
関西電力	住友生命保険	羽車	三井住友銀行
小林製菓	住友倉庫	林六	
阪野商店	ダイキン工業	福山製紙	
サントリーホールディングス	高松建設	マキ工業	

《個人会員》(入会順・敬称略)

深田晴世	阪野和子	松井基純	苧阪満里子	野村正道	朗子
福岡隆子	和田暁夫	松井香代子	松藤規子	田中江常	好子
梅原一哲	桑名孝子	山本磯隆	近藤康忠	釜江山山	雅子
石本三千也	石光正男	大原清典	宇民孝之	久木山山	より子
岸田克己	高杉方宏	大原博子	高松藤孝	秦野幸	次典
梅村博也	川島成子	橋本郁子	後藤村須美	松田原	孝子
屋良正和	切畑武男	松下鉄尊	島青那国	山之口	玲子
國垣千代子	三石恒和	萬松富久	那国文富	内海昭邦	幸子
稲垣俊太郎	神杉浦村	榎原辺川	富義雄	山小森山	公英
浮田弘子	野村玉有	小能宮市	久美司	圓井本	正鑑
桑山郁子	野村とも子	榎門森	好謙二	笠田真知	美子
三浦信一郎	松得榮	長富乾	原谷登	米太栢	順子
水島敬夫	菱谷勝次郎	富田恭弘	田谷繁	太栢	美代子
渡辺優子	豊田紘生	乾井狩	田隆里	土橋瑞義	多美子
安藤邦洋	河津清子	井井狩	東里香	笠松坂	美子
阿部由美子	佐竹悦朗	原田隆	曾我見	米太栢	順子
村本孝道	野口外志子	東里香	曾我見	米太栢	美子
松本幸忠	森山浩秀	曾我見	曾我見	米太栢	美子
笹川桂子	小原清	曾我見	曾我見	米太栢	美子
緒林昭彦					
確井重龜					
長井多尚					
岸野定秀					
祐野定嘉					
金定嘉也					
日高場明					
馬場明					

会費・個人会員につきましては年会費1口2万円です。・法人会員につきましては年会費1口10万円です。
 会員の特典・年間6回の自主公演にご招待致します。(1口に付き個人各1枚、法人各5枚)
 ・ご同伴者は10%割引となります。
 ・関連演奏会のご案内またはご優待を致します。
 ・定期演奏会プログラムにご芳名を記載させていただきます。
 ・会報「ディヴェルティメント」をお送り致します。